



「浦和のさかえに 歴史をほこる」これまでの150年、これからの50年

# 大いちょう

令和 4年 3月 1日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和3年度 No. 11 048 (829) 2737

## 子は親の鏡、子どもは大人の鏡

校長 永山 誉

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組みに御協力いただき、誠にありがとうございます。2年にも及ぶコロナとの戦いは、いまだ収束が見えない状況です。感染症対策を徹底しながら、いかに子どもたちの教育活動を充実させるか。しばらくの間は、with コロナを意識した取組を工夫していきたいと思えます。

さて、月日が経つのは早いもので、いよいよ令和3年度も残り1か月となりました。子どもたちは年度末を迎え、この1年間の自分の成長をどのように感じているのでしょうか。卒業・進級に向けて、一人ひとりが自分自身を振り返り、次年度への課題と目標を明確にして新年度を迎えさせたいと考えています。

ところで、1年間を振り返るこの時期。私は、皆様もどこかで目にしたことがあると思われる、家庭教育に生涯をささげる教育家として知られる「ドロシー・ロー・ノルト」さんが作られた詩「子は親の鏡」を思い浮かべ、子どもたちの健やかな成長のために、どのように子どもたちに接してきたのか振り返っているところでもあります。この詩は、子と親という立場だけでなく、教師として、大人として子どもに接する時の姿勢を示してくれるものでもあると考えています。この詩をどのように捉えるかは、それぞれ違うと思われるかもしれませんが、保護者の皆様も、この詩をもとにこの1年間を振り返ってみてはいかがでしょうか。

### 「子は親の鏡」

ドロシー・ロー・ノルト 作

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言われて育つと、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分ち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」 PHP 文庫 ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス 著 石井千春 訳 より

結びに、この1年間の保護者並びに地域の皆様の、学校教育への御理解と御支援に深く感謝申し上げます。